

内閣総理大臣 安倍晋三 殿  
防衛大臣 小野寺五典 殿  
京都府知事 山田啓二 殿  
京丹後市長 中山泰 殿

## 抗議要請文

山田啓二京都府知事と中山泰京丹後市長は、昨9月19日、米軍Xバンドレーダー基地の受け入れを表明しました。私たちはこれに厳しく抗議し、その撤回を求めます。

京都府北部の丹後地域は豊かな自然に恵まれた地域で、そこで暮らす人々が自然と共生して生活してきました。ところが、日米両国政府は今年2月、京丹後市・経ヶ岬に約160人の米軍・米軍属が常駐する新たな米軍基地を建設し、Xバンドレーダーを配備すると突然発表しました。経ヶ岬のXバンドレーダーは、グアムの米軍基地に向かう「他国」の弾道ミサイルを迎撃することを目的としたもので、集団的自衛権の行使につながるものです。それはまた、海上自衛隊の舞鶴軍港を含む京都府北部の軍事化、戦争態勢を一挙に強化し、東アジアの軍事的緊張をさらに高めるものとなります。米軍Xバンドレーダー基地の建設は、丹後半島を東アジアでの戦争の最前線に変えるとともに、周辺住民を戦争の脅威に日々さらし続けることとなります。政府・防衛省はこのような危険な米軍Xバンドレーダー基地建設をただちに中止すべきです。

丹後の人々は、この米軍基地建設に大きな不安を抱いてきました。豊かな自然や漁場が破壊され、強烈な電磁波によって危険にさらされるのではないかと、米軍人や軍属による事故・犯罪が起こっても、日米安保にもとづく日米地位協定によって米軍人・軍属が特権的に保護され、住民の生活と命が脅かされるのではないかと、戦争が起こればこの米軍基地が攻撃の対象となり、丹後の多くの人々が犠牲になるのではないかと…まさにあたりまえの不安です。8月7日に地元で開催された京丹後市による説明会では、住民の不安と怒りの声が噴出し、Xバンドレーダー基地建設に反対する意見が次々と出されました。京都府知事は京都府を代表して受け入れの表明をおこないましたが、そうであれば、広く京都府民の意向を確認するべきです。しかし、京都市内では説明会は開かれておらず、『京都府民だより』などの広報誌での情報提供もなされていません。防衛省、京都府、京丹後市による計画の進め方は、地元のみならず京都で生活する全ての人々の声を無視する、民主主義に反する行為です。

また、経ヶ岬での新たな米軍基地建設は、自然環境の破壊をとまいません。防衛省は環境影響評価さえおこなわぬまま基地建設をすすめるようとしています。建設予定地は国定公園のなかにあり、経ヶ岬には希少野生動植物に指定されているハヤブサが棲息しています。また、その周辺には絶滅危惧種のアベサンショウウオの棲息地があり、トビやタカ、希少種の多い砂浜など貴重な生態があります。在日米軍基地に関する環境保護の遵守基準を定めた「日本環境管理基準」に基づけば、自然資源や絶滅危惧種の保護を保證することが求められており、経ヶ岬での計画そのものが基準に反する可能性があります。

沖縄や岩国などで要らない米軍基地はこの京都にも要りません。基地建設をすすめるようとする政府・防衛省、府民の頭越しに受け入れを表明した京都府知事・京丹後市長に強く抗議し、以下のことを要請します。

1. 政府・防衛省は、Xバンドレーダー基地建設に着工せず、計画を中止すること。
2. 京都府知事・京丹後市長は、米軍Xバンドレーダー基地の受け入れ表明を撤回すること。
3. 環境影響評価、京都府下各地における住民説明会、日米地位協定の抜本的見直しを執行すること。

2013年9月20日

京都に米軍基地はいらない！9・20緊急集会 参加者一同